

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

「粘り強く 学び合う 認め合う 平戸の子」
○自分の考えや学んだことを活かし、意欲的に学び続ける力を育てます。(知)
○規範意識や礼儀を大切に、自分や相手のよさに気づき認め合う力を育てます。(徳)
○健康な体づくりを通して心と体の健康に関心をもち、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体)
○学校や平戸のまちに親しみ、まちの一員として主体的に関わる力を育てます。(公)
○様々な人とのコミュニケーションを通して広い視野をもち、共に生きていく力を育てます。(開)

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

<自ら学び続ける力>
<学んだことや体験を活用する力>
<人とのつながりを大切に学び合う力>

具体化した資質・能力

能動的・主体的に取り組む力 課題を見いだす力
試行錯誤する力
粘り強く取り組む力 多面的な視点で考える力

中期取組目標

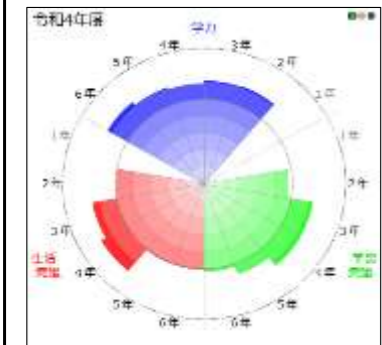
○子どもの自己有用感の育成と、まちとともに歩む学校づくりを目指します。
・学んだことを活かして自ら問題を見つけ、よりよく解決していこうとする力を育てます。
・一人ひとりが安心して自分らしさを発揮し、互いを尊重し認め合おうとする力を育てます。
・あいさつなど、相手意識をもった行動の取れる態度を育てます。
・教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。
・学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校づくりを目指します。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (生きたてはたらく知) and 具体的取組 (学習課題の明確化を図り、子どもたちが自ら問題を粘り強く追究・解決できるよう授業改善に取り組む。)

学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる児童生徒の実態
令和4年度の学力・学習状況調査の結果は、昨年度同様教科全般に対する理解度、習熟度は市平均よりも高いことがわかれる。特に学習意識については昨年度よりさらに伸びてきており、継続して習熟度別指導や教科担任制を行った結果が表れている。今年度は学習活動への制限が大幅に解除される見込みであり、ICTを取り入れた新たな学習環境と、内容によっては従前の学習状況に戻していく取り組みの工夫や取捨選択が必要である。より実践的な内容を取り入れ、意欲を高められるよう、誰もが分かりやすい学習を継続して追及、実践する。



今年度も継続して算数科の重点研究を進め、課題解決に向けた意欲や表現力の向上を図るとともに、主体的で粘り強く取り組む姿勢を育めるよう研究を進めていく。

今年度の目標

課題を見だし、主体的に粘り強く解決しようとする子の育成
自分の考えに自信をもって相手に伝えられる子の育成

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
○授業力向上を図るための1学級1授業提案
問題発見・解決の過程を重視し、今まで培ってきたコミュニケーション能力を活用しながら、自らの考えを伝えることができる算数科を重点的に取り組む教科として設定し、研究を進めていく。研究2年目であることから、昨年度のテーマを踏襲し、今年度も「できた！わかった！もっとやりたい！」すすんで伝え合う子どもの育成」と位置付け、よりすすんで伝え合うことに焦点を当てて研究を進めていく。
○学習課題の明確化を図り、子どもたちが自ら問題を追究・解決できるよう授業改善に取り組む。より多面的かつ個に応じた支援を展開するために4年生以上での教科担任制や算数科少人数指導を行う。
○朝読書の推進、学校図書館の活用指導等により読解力・情報活用能力の育成を図る。
○自分の考えや思いを、分かりやすく相手に伝える。色々な考え方を共有する機会を設け、友達との考えの良さにふれる。
○話し合いの中から、すすんで表現するだけでなく、互いの意見を受け止め、対話ができるようにする。

下半期
○学んできたことを生かし、日常の中で取り入れながら学習を進める。
○振り返りを習慣化し、問題解決の過程から次の課題を見出せるよう、活動展開を工夫する。
○自他の考えの相違点や共通点を見つけ、目的に合ったよりよい考え方をを見つけ、質の高まった活動をつくりあげることの楽しさを味わえるようにする。
○振り返った内容から次の活動を考えていくような機会を設ける。
○学年に応じて、小学校生活で身に付けた力を総合的に生かすことを意識して、表現活動を広げる場面を位置付ける。
○自分の考えを構築し、伝え合うことで、より考えが深まっていくような授業展開を工夫する。

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (豊かな心) and 具体的取組 (1)ペア学年等の縦割り活動を通して異学年同士のつながりを築き、自他を大切にできる心情を育てる。)

豊かな心に関わる本校の状況

記述アンケートの主な回答【児童】
○学習でがんばっていること
国語などの各教科・ささりん/話を聞くこと/たくさん発言すること/自分の考えをもって学習に参加すること
○休み時間や給食、掃除などでがんばっていること
元気に外遊び/ルールを守って過ごす/静かに残さず食べる/掃除を丁寧にやる/時間を意識して過ごす
○地域の人たちに助けてもらっていること
登下校時などの見守り活動/読み聞かせ/交通安全/ふるさと平戸/毎日の挨拶
○平戸小学校のみなが、もつとがんばった方がよいこと
挨拶/めりはりをつける/授業を受ける態度/廊下を歩くこと/友達を思いやること
○平戸の地域についてもっと学びたいことや、地域の人と一緒に取り組みたいこと歴史と特色(果樹園など)/ふるさと平戸を通しての昔遊び、地域清掃

記述アンケートの主な回答【保護者】
○平戸小学校の子どもたちに、今よりも一層、身に付けてほしい力
自分から挨拶/自主性/積極性/思いやり/責任感/感謝/他者理解/
○平戸の町に住んでいるからこそ学んでほしいこと
郷土愛、特色(梨、農園、自然)/歴史(旧東海道・東戸塚駅開発 など)/地域行事、地域の方とのふれ合い/交通ルール/助け合い

アンケートの結果から、児童・保護者ともに挨拶を『自らすすんで、元気に』することができていないとする評価が多かった。

今年度の目標

一人ひとりが安心して自分らしさを発揮し、互いを尊重し認め合おうとする力を育てます。
・あいさつなど、相手意識をもった行動の取れる態度を育てます。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
○地域の方との交流の充実
・伝統的な行事である「ふるさと平戸」の実施
・活動のねらいと実施方法を工夫しながら、地域の方との触れ合いを通して、その思いや地域のよさに気づくことができるようにする。
○「特別の教科 道徳」の充実
・道徳科の授業と教育活動全体を通じて行う道徳教育との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
○ペア学年を中心とした縦割り活動の充実
・「児童会活動」「クラブ活動」「縦割り集会」「ペア集会」などの「異年齢集団活動」を、より自主的、意欲的に行うようにする。
○Y-Pアセスメントを活用した支援検討会を実施し、個々の子どもの課題の早期発見と、「自分・仲間・集団づくり」に活かす。(年2回)

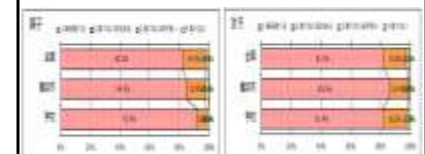
下半期
○主体性をもった総合的な学習の時間や生活科の取組
・まちや地域の方とかわる機会を生かし、主体性をもって学習発表会に向けた取組ができるようにする。
○学校評価アンケートの活用
・学校行事後に、参観した学校での児童の様子や、家庭・地域での様子についてアンケートを実施する。子どもの実態を把握し、日々の学校生活に生かす。

健やかな体の育成プラン

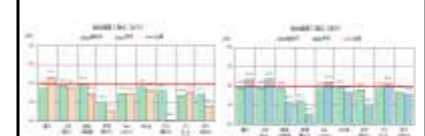
Table with 2 columns: 重点取組分野 (健やかな体) and 具体的取組 (1)体力向上を図るため、「投げる」運動に重点的に取り組む。投力の向上を目指し、新体力テストと合わせて計測回数を増やすことで、自身の投力の向上を実感できるようにしていく。

健やかな体に関わる本校の状況

朝食を毎日食べる児童のポイントが市の平均に比べて高く、男児は全国の平均を上回っている。休業期間中の「早ね・早起き・元気カード」や月1回の「バランスイナワーク」の食育の取り組みの効果が表れている。



令和元年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、特に「立ち幅跳び」の記録が低い。全国、横浜市ともに本校の児童が下回っている。



毎週全校で「平戸体操」に取り組む、百俣化されている。
・休み時間に運動している児童が多いが、学年が上がると減少傾向にある。
・近年のたい力低下や、運動量の減少により、運動時のけがが多くなっている。特に器械運動でのけがが目立つ。

今年度の目標

学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、心身の健やかな成長を目指します。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
○平戸体操・休み時間の外遊びの日常化を通じた体力向上、食教育授業を中心とした食育の充実を推進する。
毎週金曜日の朝や体育の学習の中で平戸体操を行ったり、運動委員会の取り組みや声かけで休み時間の外遊びを促す。
○早寝・早起き実践を通して、健康でたくましい体を育成する。
休業期間中の「早ね・早起き・元気カード」に取り組む、自分の生活習慣を記録し、振り返ることで、生活リズムの見直しを図る。
○長縄集会や記録会を設けることで体力向上の指標とする。
体育の学習や休み時間などに長縄に取り組んだり、長縄集会や記録会に向けて取り組むことで体力の向上を図る。
○年2回の学校保健委員会を通じ、体力向上のための動きをご指導していただき、日常運動に生かす。
第1回の学校保健委員会では、運動をすると良いことや、体力が向上すると良いことについて知り、「投げる力」を集中的に高めることで体力向上を図る。

下半期
○平戸体操・休み時間の外遊びの日常化を通じた体力向上、食教育授業を中心とした食育の充実を推進する。
毎週金曜日の朝や体育の学習の中での平戸体操を継続的に行ったり、運動委員会の取り組みや声かけで休み時間の外遊びをさらに促す。
○早寝・早起き実践を通して、健康でたくましい体を育成する。
休業期間中の「早ね・早起き・元気カード」に取り組む、自分の生活習慣を記録し、振り返ることで、生活リズムの見直し、さらなる健康づくりを図る。
○長縄集会を設けることで体力向上の指標とする。
長縄記録会を年に数回行うことで、よりよい記録に向けて取り組むことで体力の向上を図る。
○年2回の学校保健委員会を通じ、体力向上のための動きをご指導していただき、日常運動に生かす。
第2回の学校保健委員会では、個人の「投げる力」の記録をふり返ったり、クラスの「活動目標」についてふり返ったりして、さらに体力向上への意欲を高める。